様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和６年６月１９日

都道府県知事
（市長）　　佐藤　樹一郎　殿

提出者
住　所　大分県佐伯市常盤南町８番３３号
氏　名　谷川建設工業株式会社
代表取締役社長　　谷　川　憲　一
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９７２-２２-２６０１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	谷川建設工業株式会社
事業場の所在地	大分県佐伯市常盤南町８番３３号
計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	特定建設業
②事業の規模	元請完成工事高　￥１，７０３，６３２，７３２
③従業員数	５５人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・コンクリート殻・アスファルト殻 再生利用業者に委託して、再生砕石として再資源化。 ・その他の廃棄物 収集運搬業者及び中間処理業者及び、最終処分場へ運搬・破砕・選別、再利用、埋立処分

（日本工業規格　Ａ列４番）

コメントの追加 [小野1]: 9 月末締めの「損益計算書」の総売上(純利益)
(元請けだけじゃないみたい)

コメントの追加 [野口2]: 9 月末締めの「損益計算書」の総売上(純利益)
(元請けだけじゃないみたい)

（第２面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項						
（管理体制図） （昨年度文章ままま）平成２８年６月７日　産業廃棄物処理業廃止届出書　　提出						
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
① 現状	【前年度（令和５年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリがら	汚泥	金属くず	混合(管理)
	排 出 量	352.6ｔ	136.8ｔ	21.4ｔ	0.03ｔ	3.1ｔ
	産業廃棄物の種類	廃プラ	がれき類	木くず		
	排 出・量	7.1ｔ	0.1ｔ	506.1ｔ		
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の分別を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めてきた。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリがら	汚泥	金属くず	混合(管理)
	排 出 量	300ｔ	120ｔ	15ｔ	0.01ｔ	2ｔ
	産業廃棄物の種類	廃プラ	がれき類	木くず		
	排 出 量	5ｔ	0.05ｔ	450ｔ		
	（今後実施する予定の取組） 廃棄物の分別を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めていく。					
産業廃棄物の分別に関する事項						
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工事で発生する廃棄物に関しては、リサイクル可能な物は分類し、搬出し、その他は、最終処分(安定型)に処分している。					

	②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の分担を心がけ、リサイクルを出来るだけ進めて、廃棄物の減量化を進めていきます。 特別管理産業廃棄物の管理を徹底します。

（第３面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
	① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該当しない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 該当しない		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
	① 現状	【前年度（令和５年度）実績】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
		（これまでに実施した取組） 該当しない		
	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

		（今後実施する予定の取組） 該当しない

（第４面）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①	【前年度（令和５年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 該当しない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当しない		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
①現状	【前年度（令和５年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリがら	汚泥	金属くず	混合(管理)	廃プラ	がれき類	木くず
	全処理委託量	352.6	136.80	21.4	0.03	3.1	7.1	0.1	506.1
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0	0.015	0.0	0.03	3.1	7.0	0.1	0.4
	再生利用業者への処理委託量	352.6	136.79	21.4	0.00	0.0	0.1	0.0	505.7
	認定熱回収業者への処理委託量								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（これまでに実施した取組）
再生利用については、再生利用業者に処理委託する。
廃棄物の分別を心がけて、リサイクルを可能な限り進めて、減量化を進めています。
可能な限り優良認定処理業者への処理委託を行っていきます。

（第５面）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	アスコンがら	コンクリがら	汚泥	金属くず	混合(管理)	廃プラ	がれき類	木くず
全処理委託量	300	120	15	0.01	2	5	0.05	450
優良認定処理業者への処理委託量	100	20	5	0.01	2	5	0.05	50
再生利用業者への処理委託量	200	100	10	0.00	0	0	0	400
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（今後実施する予定の取組）
再生利用に関しては、再生利用業者に処理委託します。
廃棄物の分別を心がけて、関連法規(廃棄物処理法・リサイクル法等)の趣旨を理解して、リサイクルを可能な限り進め、減量化を進めます。
可能な限り優良認定処理業者への処理委託を行っていきます。
また、特別管理産業廃棄物の管理を徹底します。

※事務処理欄